

令和7年 網走市議会
総務経済委員会 会議録
令和7年5月23日（金曜日）

○日時 令和7年5月23日 午後1時50分開会

○場所 議場

○議件

1. 網走市観光振興計画について
2. 網走市観光消費動向調査の結果について

○出席委員（7名）

委員長	井戸達也
副委員長	石垣直樹
委員	小田部照
	澤谷淳子
	深津晴江
	松浦敏司
	山田庫司郎

○欠席委員（1名） 立崎聡一

○議長 平賀貴幸

○傍聴議員（4名）

里見哲也
永本浩子
古田純也
古都宣裕

○説明者

副市長	後藤利博
観光商工部長	北村幸彦
観光課長	井上博登
観光商工部参事	田端光雄

○事務局職員

事務局長	岩尾弘敏
次長	本橋洋樹
総務議事係長	和田亮
総務議事係	平間公稀

午前1時50分開会

○井戸達也委員長 ただいまから、総務経済委員会を開会いたします。

今日は、所管事務調査になります。

初めに本日の委員会ですが、立崎委員より欠席の

届出がありましたので、御報告いたします。

それでは、議件1 網走市観光振興計画について説明を求めます。

○井上博登観光課長 まず資料1号を御覧ください。網走市観光振興計画について、御説明をさせていただきます。

まず一つ目の内容でございますが、2023年度までを計画期間としていた網走市観光振興計画2019は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当該計画の検証が困難であることや、新計画の策定を検討する時点において、専門家からも今後の観光動向や見通しについて不透明であるとの見解があったことから、内容を一部見直し、計画期間を延長してきました。今年度においては、当市における観光の基本姿勢や取り巻く環境、抱えている課題等について、継続的な事項や基盤となる部分は、現行計画を生かしつつ、観光をめぐる近年の情勢やコロナ禍を経た観光需要の変化を踏まえ、修正点や新たに盛り込むべき要素を整理した上で、現行計画を2025年度版として更新いたします。また、2024年度に実施しました観光消費動向調査を参考としながら、新計画の策定を進めてまいります。

続いて、二つ目の計画の更新に係る協議については、観光事業者等で構成される網走観光戦略会議において協議を実施しております。この戦略会議には、現計画である網走市観光振興計画2019の策定に携わっていただいた専門家の方が入っておりますので、この計画更新を議論する場として、適当と判断したところです。

続いて、三つ目の現行計画の更新点についてですが、資料の2枚目にあります網走市観光振興計画2019更新案のとおり、現行計画内の50ページから51ページにある戦略及び実施施策一覧と、52ページから66ページにある事業内容の一部を更新しております。更新内容としましては、1点目として、現行計画52ページにあります、漁業や農業といった、網走の基幹産業をはじめ、民・学・官による観光振興を推進するという戦略の中に、新たな施策の方向性として、酒造りを活用した誘客促進の項目を追加しました。上川大雪酒蔵が掲げています地方創生蔵の取組や、日体大附属高等支援学校が大曲湖畔園地や刑

務所用地でブドウを栽培し、ワインを製造する取組など、網走が誇るグルメとの相乗効果も期待される酒造りを観光素材として、誘客促進策を検討していくという方針となります。続いて2点目に、現行計画54ページにあります、観光スポットやイベントにおける観光消費額及び滞在時間の拡大を図るという戦略の中に、閑散期と繁忙期の対策検討の項目を追加しました。さきに御説明した、観光消費動向調査などにより、集客状況のマーケティングを行いながら、繁閑それぞれの対策について検討し、通年で安定した観光客誘致を目指すものです。3点目は、戦略名称の更新となります。現行計画55ページにあります元の名称はインフラ整備と情報発信力強化による観光受入基盤強化戦略とありますが、その中に文言として、観光DXの推進を盛り込むことで、観光客の利便性向上や観光産業の業務効率化、サービスの高付加価値化、集積データを用いたマーケティングなどといった様々なDX化が本戦略において重要であるということを強調し、推し進めていくためのキーワードとなっています。最後に4点目として、現行計画65ページにある地域DMO法人登録に向けた組織体制を構築するという戦術について、実態に即した内容となるよう更新をいたしました。

以上で、網走市観光振興計画に係る経過と現計画の延長及び更新内容についての説明を終わります。

○井戸達也委員長 ただいまの説明で質疑等ございますでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、議件2網走市観光消費動向調査の結果について説明を求めます。

○田端光雄観光商工部参事 資料2の1ページを御覧ください。令和6年度に実施いたしました、網走市観光消費動向調査の結果について説明いたします。

初めに1の目的でございますが、本調査は令和6年度に当市を訪れる観光客に対しアンケート調査を実施し、観光客の行動動向や観光客意識等を把握するとともに、市内における観光消費額や地域経済への波及効果を推計するために実施いたしました。前回は平成28年度に実施しておりまして、同調査との比較や類似都市との比較等により、網走観光の特性を明らかにし、今後の観光プロモーションやマーケティング、受入体制の整備等、当市観光施策の効果的な推進や、今年度新たに作成いたします観光振興

計画の基礎資料とすることを目的としてございます。

次に2の調査内容でございますが、調査は4期、春夏秋冬に分け、2か所の観光施設及び8か所の宿泊施設において観光客アンケートを行い、アンケート調査結果や当市の観光客入込統計等から、1人当たりの観光消費額単価及び1年間の観光消費額を推計いたしました。観光消費額から地域外流出額を差し引いた直接効果額に、1次・2次波及効果を加え、経済波及効果を算出しております。

3の調査結果につきましては、令和6年度網走市観光消費動向調査報告書概要版により説明いたします。それでは1ページおめくりいただきまして、令和6年度網走市観光消費動向調査報告書概要版の1ページ目を御覧ください。まず、調査の概要であります。一般観光客の動向、ニーズ、消費額等を把握するため、観光拠点2か所、宿泊施設6か所において、対面ヒアリング調査を含めたアンケートを実施し、日本人1,115名、外国人212名、合計1,327名から回答を得ております。1ページ左側中段から、北海道全体とオホーツク圏の観光概要を掲載しております。1ページ右側上段には、網走の観光入込客の推移とその影響ということで、新型コロナウイルスの感染拡大が始まる直前の令和元年度から令和5年度までの状況を掲載しております。中段にございますとおり、令和5年度の網走市観光客入込数は122万3,000人、宿泊延べ数は、日本人で32万9,000人、外国人で3万8,000人と令和元年度と比較いたしまして日本人は99.0%、外国人で85.7%まで回復してきております。下段には、令和元年度から令和5年度にかけての月別宿泊客延べ数をグラフで掲載しております。

続きまして、2ページを御覧ください。本調査におけるアンケート調査結果の概要を抜粋して掲載しております。回答者の属性といたしまして、全体では男性の回答がやや多く、外国人では女性が多くなっております。また、年齢構成は幅広く、特に50代から70代の方が56.4%を占めました。網走への訪問回数は、全体の45.5%が初めてという回答でございます。この値は、前回調査に比べると20%ほど減少しております。また、5回以上来訪いただいているハードリピーターが全体の2割を占める結果になりました。旅行の目的は、道内客で仕事や帰省を兼ねた観光が若干多いものの、全体では82.2%が観光目的でございました。次に、2ページ右側に移りま

して、旅行のきっかけは、インターネットや友人、知人の勧めが多い結果となっております。満足度に関しまして、日本人では、景色や風景、接客、人の対応、観光施設が一定の満足度を得たものの、道路交通、W i - F i のサービスに不満が多い結果となりました。年代別では、中高年の満足度が低い傾向にございまして、外国人の評価では、景色、食、接客が高い満足度を示してございます。

次に、3 ページでございますが、宿泊客、日帰り客、日本人、外国人別の観光消費額を掲載してございます。まず、宿泊客では4 万3,005円という結果でございまして、前回の平成28年度調査と比較し、2 万1,082円の増加。日帰り客は9,742円で、前回と比較し、3,272円の増加。日本人観光客の結果は、4 万876円で、前回と比較し、1 万8,953円の増加。外国人宿泊客の結果は5 万9,610円で、前回と比較し、3 万7,681円の増加。各項目ともに大きく数字を伸ばした結果となりました。

3 ページ右側と4 ページでは、経済波及効果の算定を行っておりまして、今回の調査で算出した観光消費額を令和5年度の入り込み数値を用いて算出の結果は、次の4 ページ左側にございますとおり、令和5年度では、網走市で観光消費額が218億円発生いたしまして、市外への流出分56億円を除いた162億円が直接効果額となります。これに一次波及効果44億円、2次波及効果29億円を加えて、最終的な経済波及効果額は235億円と算出いたしました。本調査の結果は、観光業界と情報を共有し、課題と言われている通過型観光から滞在観光地への変革、満足度とリピーター率を高めるほか、高付加価値化及び消費額の向上を目指した取組を進めるとともに、観光客のニーズに合った対応ある施策を研究してまいりたいと考えております。

本日の資料である概要版のほか、本編につきましては、この後、網走市公式ホームページで公開する準備を進めております。

以上で説明を終わらせていただきます。

○井戸達也委員長 ただいまの説明で質疑等ございますでしょうか。

○澤谷淳子委員 こちら、俗な質問ですけど、北海道の人気度は、網走どれくらいかというのはわからないんですか。これ見ると、小樽とかいろいろと出ている所もあるのだけれども。

○田端光雄観光商工部参事 今委員おっしゃったのは、道内他都市の数値比較のところを御覧になられ

たことかと思います。これにつきましては申し訳ありません、この経済効果の比較という部分で掲載しております。今御質問ありました網走の観光の人気ランキングという点につきましてはですね、雑誌等で公表されているものはございますけれども、公式なものとして、押さえているものはありませんことを御理解いただければというふうに思います。

○井戸達也委員長 ほかに質疑ございませんか。

○深津晴江委員 確認なのですが、調査の概要で、日本人と外国人の総サンプル数として載っていますが、これは、例えば宿泊とか、何ていうのでしょうか、対象になった方の大体何%ぐらいの方が、このように回答していただいたかというのはわかるでしょうか。

○田端光雄観光商工部参事 今回の調査につきましては、多数いらっしゃる観光客に対してですね、まず観光施設での対面調査、それと宿泊施設に、いわゆる留め置きという紙を置かせていただいて、後ほど御回答ください、あるいはインターネットで御回答ください、という方式を取っておりますので、どのぐらいの観光客の方に対して何%の回答を得られたという結果は、持ち合わせておりません。

○深津晴江委員 わかりましたので、結果的に答えてくださった方というのは、やはり好意的に網走に来てよかったという部分など、あるいは不足というのでしょうかね、そういうことをアンケートに答えてくださったのかなというふうに思いますので、10%ぐらいだったのかってところ、トータル的に多分訪れた人たちの、宿泊と日帰りというところでは、概算でも出るかなというふうに思ったのですが、わかりました。

それで満足度が、日本人は外国人よりも低い傾向で、特に道路交通、W i - F i のサービスに不満が多いってところがありました。これ具体的にどのようなことだったのか。そして今後、こういうふうにしていきたいという方向性がありましたら、お示してください。

○田端光雄観光商工部参事 今、委員お尋ねの件でございますけれども、道路につきましては、すいません、項目を細かく定めることができなかったのも、推測とふだんのヒアリング調査の結果を基にお伝えしますと、例えば、冬の観光シーズンにおきまして、網走駅から道の駅に向かう歩道が狭い、あるいはガタガタしていてキャリーケースを運びづらい、そういったことが、恐らくこのような結果に反映さ

れたものというふうに推測しております。

W i - F i につきましては、市内でW i - F i 環境を整えつつございますが、全てを網羅できていないということになりますので、その点です、使いたいときに使えない場所があったということが、このような形になったのかなというふうに推測しております。

それらの解決策につきましては、令和8年度より宿泊税を導入することもございますので、いわゆる観光インフラの整備についても、観光業界等を含め、検討を進めていきたいなというふうに考えております。

○深津晴江委員 わかりました。W i - F i はかなり網走市としても取り組んでいるところですが、やはり使いたいときに使えなかった場所があるんだということが、やはりよそから来ていただいた方に答えていただいて、わかった部分がありますので、来年度から宿泊税を頂いて、やはり速やかに、その改修などに使っていただければなというふうに思っています。それでですね、その続きで、逆に外国人の方の満足度が高いところが、景色や食、接客サービスというところ、高い満足いただいて大変うれしく思いますが、これも具体的ってところが、アンケートでは取っていないのかなと思いますが、何か担当課として押さえているところがありましたら、お示ください。

○田端光雄観光商工部参事 こちらのアンケートはちょっと別物になりますけれども、私どもが関わっております、ひがし北海道自然美への道DMOという観光地域づくり法人がございまして、そこでかなり詳細なアンケート調査を行っております、2年前のものになりますけれども、台湾に向けて調査を行っております。なぜ台湾かというのは、北海道の中でも台湾の入り込みというのは、香港、中国本土と並んで多いものですから、そこに照射を当てて、アンケートをしたというふうに伺っております。その中でもやはり、北海道で何を満足してたか、あるいは何を楽しみにしているかという項目につきましては、食、景色というところがですね間違いなく上位に上がってきておりますので、そういう部分につきましても、今回のアンケート結果に反映されたものというふうに思っております。

あと台湾の方々、いわゆるシティーホテル、ビジネスホテルではなく、旅館型の宿泊施設を好む傾向にございまして、そちらでの、いわゆる手厚いお

もてなしですね、そういったことを好む傾向があるというふうに伺っておりますので、網走市内にも旅館型の宿泊施設がありますことから、そういったところで受けたサービスに感銘を受けたというふうに推測はできるというふうに考えております。

○深津晴江委員 概略についてわかりましたが、例えば、網走のここの景色がよかったとか、あるいはおいしい網走っていうふうにうたっておりますが、その食もいろいろあるかと思って、どれも自慢のものなのですが、特にこういうアンケートとか先ほどの法人さんの調査でわかって、こういうところが好まれるっていうのがありましたらお示ください。

○田端光雄観光商工部参事 今回のアンケートの中で、いわゆる自由回答欄がございましたので、その一例を御紹介させていただきます。

自然景観につきましては、北海道らしい広大な景色ということで、能取岬、網走湖の夕日、北浜駅のたたずまい、サンゴ草の景観、それと川沿の景色や網走川周辺の景観などといったことが、自由意見として挙げていただいております。

続いて、食事・グルメにつきましては、ホタテ、おすし、ちゃんぽん、ラーメン、きんき、網走の定番のグルメが自由意見として記載があったところでございます。そのほかにも、ソフトクリームといったような御回答も頂いているところでございます。

○深津晴江委員 そちら辺をしっかりと、こちら側が把握してそれを売りにしていくってということも、戦略も大事かと思っておりますので、ぜひ今回の結果を有効に活用していただけたらというふうに思います。

以上です。

○井戸達也委員長 それではほかに質疑ございませんか。

○松浦敏司委員 網走の特徴として長年、通過型の観光ということで、なかなか宿泊が伸びないという課題というのがあったのですが、その点では、私の印象ですけれども、少し宿泊が増えているのかなというふうな思いも受けるのですが、その辺はどんなふうに捉えているんでしょう。

○田端光雄観光商工部参事 宿泊の関係でございまして、道外客の訪問回数では13.8%の方、776人中105の方がですね、5回以上訪れていただいているという結果がございました。そういったことで多くの方に訪れていただいているんですけども、観光客全体で約50%の方がですね、三泊四日の行程を組んでいるものの、網走市での平均宿泊者数

につきましては、道内客で1.3泊、道外客で1.6泊、外国人で1.7泊にとどまっているところが判明いたしました。これは観光客のお気持ちから考えますと、網走に行きたい、釧路にも行きたい、旭川にもめぐりたいと、そういう周遊観光を望む声があるので、なかなかそういうお気持ちを網走だけに寄せていただくことは難しいと思うのですが、これまで実施してきております体験型観光の充実等で、先ほど申しあげました1.何泊代の数値がこれが少しでも高くなっていくように滞在時間の増加、日数の増加に向けてですね、取組を引き続き進めていく必要があるのかなというふうに考えております。

○松浦敏司委員 先日、連休明けに、本州から2人のお客さんが来て、そして能取岬、それから流氷館からの眺めなどを見て、物すごく感動するわけです。つまり網走に、こんな小さな町けれども、湖が4つもあるとか、知床の山々が天都山のところからくっきりと見えるというようなこともあって、私たちがふだん当たり前のことが、本州の人にとすると当たり前じゃなくて、ふきのとうがあちこちにあること自体感動していたり、白樺の木があちこちにあることは感動するっていう。改めて私はね、いやそういうことなのかっていう。我々は、あまりにも当たり前に思っているけれども、やっぱり網走にある自然の豊かさっていうのを認識しないと駄目だとなつてつくづく思いました。たまたま天気がよくて、能取岬も非常によかったのはあるんですけども、やっぱりそういう意味で、我々、認識をちょっと変えないといけないのかなというふうな印象も受けたところです。より一層網走の観光がより発展するということなので、努力をしていっていただきたいと。

私のほうから以上です。

○井戸達也委員長 ほかに質疑ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、なければ以上で、総務経済委員会を終了いたします。

お疲れさまでした。

午後2時15分閉会
